

釧路の研究活動

研修部長 釧路町立昆布森小学校

校長 酒井 裕之

1. はじめに

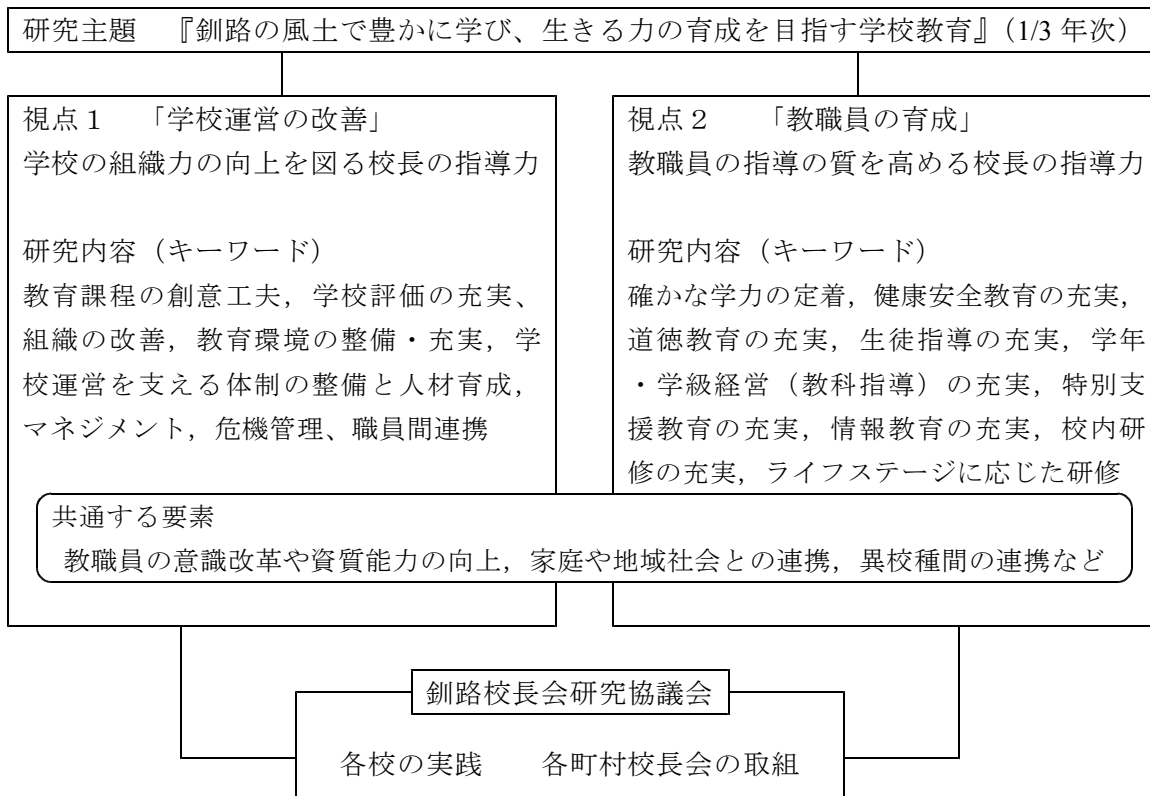
釧路校長会では、平成26年度より新たな研究主題「釧路の風土で豊かに学び、生きる力の育成を目指す学校教育」を設定し、3年計画の研究をスタートさせた。研究推進に当たっては、「学校運営の改善」と「教職員の育成」を視点とし、学校経営及び日常の教育活動を通して研修と実践を深めている。

26年度は道小日高大会の提言、27年度は道小十勝大会並びに全連小山口大会の提言を担当する。そこで、釧路校長会の研究主題に基づく研究と同時に、特別委員会を立ち上げてこれらの提言に向けた研究を推進し、成果を環流することで会員の職能向上を図りたい。



2. 研究及び活動の計画

(1) 研究計画



(2) 活動計画

- ① 第55回釧路校長会研究協議会の開催
- ② 各種研究大会への参加体制づくり（道小、全連小、道中、全日中）
- ③ 道小研究大会提言「現職教育」（26・27年度）に関する特別委員会の開催
- ④ 全連小研究大会提言「健やかな体」（27年度）に関する特別委員会の開催

3. 研究及び活動の概要

(1) 釧路校長会研究協議会の開催

釧路校長会の研究の中核を成す研究協議会である。全体会では、釧路教育局の企画総務課長から、「教育関係団体の業務に従事する場合の服務上の取扱い」及び「釧路管内教職員人事異動要項」に関する情報提供をいただいた。

続いて、道小研日高大会第7分科会で提言した「教員の意識改革を促し、学校力・教師力を高める現職教育と校長の在り方」を環流発表した。

分科会は、担当町村校長会の提言と各自が事前に作成して持ち寄った個人レポートを基に協議を深めた。第1分科会「学校運営の改善」は厚岸町校長会の提言を基に学校規模別グループを、第2分科会「教職員の育成」は鶴居村校長会の提言を基に校種別グループを編成し、それぞれ校長の指導性について協議を深めた。

(2) 各種研究大会への参加

①道小研日高大会（9月12日・13日）

13名参加 第7分科会提言発表

②全日中苫小牧大会（10月9日・10日）

11名参加

③全連小埼玉大会（10月23日・24日）

4名参加

(3) 特別委員会の開催

道小特別委員会を組織して、校長へのアンケート調査を基に校内研究体制の整備とミドルリーダーの育成を視点に校長の指導性をまとめ、日高大会において発表した。27年度の十勝大会に向けては教員の参画意識を高める研修と管理職を担う人材の育成を視点に、校長会としての組織的な指導性について究明する。

さらに、27年度的全連小山口大会第6分科会「健やかな体」の提言に向けて新たな特別委員会を組織し、提言骨子の作成と実践資料の収集に努める。

4. おわりに

釧路校長会の研究の中核である研究協議会は、平成23年度に道小弟子屈大会及び25年度に道中弟子屈大会を主管したことから、2日日程で開催するのは4年振りとなり、企画・運営面で戸惑いを隠せない開催となったが、釧路教育局並びに町村教育委員会連絡協議会教育長部会の絶大なるご支援と、会員各位の理解と協力の下で充実した内容で終わることができた。分科会の提言を担当していただいた厚岸町校長会並びに鶴居村校長会の組織的な取組に敬意と感謝を表したい。また、分科会協議を充実させるために、研究の視点に沿った個人レポート集を作成し事前配布することを企画したところ、全ての会員から貴重な実践をまとめた原稿をいただいた。釧路校長会の結束力を目の当たりにした思いである。

次年度は、現在集約中の反省を基にさらなる改善を図って参りたい。また、道小並びに全連小の提言に向けても、会員各位の理解と協力を糧に組織を挙げて全力で臨む所存である。

